

北海道大学低温科学研究所

大気海洋相互作用分野へのご支援のお願い

極地の海から地球環境の変化を探る

研究概要（背景）

近年、海洋が南極氷床を溶かし地球全体の海水位上昇に寄与しています。氷床から流れ出た融け水が、南極発の深い全球海洋循環を弱めているという指摘もあります。極域海洋は地球環境の大きな変化の舞台であり、その実態把握のために、南極海や北極海などの現場でしか行うことのできない観測的研究を行っています。

研究内容

私たちの研究室では、近年の地球温暖化とともに地球規模で進行する気候変動の影響が南極に代表される極域海洋にどのように影響し、また影響を受けているのかを探るため、極域海洋に観測船ででかけ、実際の海の水温や塩分、流速、各種トレーサーなど様々な状態を計測することで、海況とその変化の実態把握に取り組んでいます。とりわけ南極地域における現場観測は、人類社会に大きな影響を与える将来予測の基礎となるためとても重要です。現在、極域海洋で変化が生じていることは、過去からのこうした現場観測のつみかさねによりはじめて明らかになるものです。私たちはこうした観測に大学院生を帯同して大自然の最前线にたつ若手研究者として育成し、こうした研究を未来に向けて継続、推進していくこうと考えております。

基金の使途

・極域海洋学研究の次代を担う大学院生を対象とした、南極海や北極海などの観測研究に要する派遣・準備経費ならびに学会成果発表（国内、海外）に係る経費への支出

分野代表者から

大学院生の遠隔地への派遣には旅費をはじめ多大な費用が伴うため、寄附という形で皆様のお力添えを賜れますと幸甚です。お寄せいただいたご厚意は、全て大学院生の派遣の費用および観測・研究活動の充実に充てさせていただきます。皆様の温かいご支援を心よりお願い申し上げます。

北海道大学 低温科学研究所 大気海洋相互作用分野 教授 青木茂